

■財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

○法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	流動資産 ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
水道事業	H28	130,894	0	1,256,842	△ 1,125,948	0	△ 1,125,948	570,346	-
	H27	90,732	0	1,264,956	△ 1,174,224	0	△ 1,174,224	624,048	-
病院事業	H28	762,513	96,039	1,327,607	△ 469,055	0	△ 469,055	5,895,807	-
	H27	756,632	82,632	1,305,186	△ 465,922	0	△ 465,922	6,076,405	-

○法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
簡易水道事業	H28	1,383,208	0	1,441,330	△ 58,122	0	△ 58,122	511,606	-
	H27	1,434,057	0	1,492,609	△ 58,552	0	△ 58,552	511,606	-
集落排水事業	H28	390,711	0	415,392	△ 24,681	0	△ 24,681	98,232	-
	H27	405,808	0	430,824	△ 25,016	0	△ 25,016	98,232	-
公共下水道事業	H28	2,646,601	0	2,690,609	△ 44,008	0	△ 44,008	347,977	-
	H27	2,500,870	0	2,552,616	△ 51,746	0	△ 51,746	347,977	-
浄化槽整備事業	H28	266,981	0	285,577	△ 18,596	0	△ 18,596	37,446	-
	H27	236,636	0	250,491	△ 13,855	0	△ 13,855	37,446	-
市民太陽光発電所事業	H28	38,842	0	61,436	△ 22,594	0	△ 22,594	43,855	-
	H27	92,116	0	106,962	△ 14,846	0	△ 14,846	43,855	-

○法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	土地収入見込額 ④	地方債現在高 ⑤	長期借入金 ⑥	小計 ⑦=①+②-③ +(⑤+⑥-④)	解消可能 資金不足額 ⑧	資金不足額 ⑨=⑦-⑧	事業規模 ⑩	資金不足比率 ⑨/⑩
工業用地造成事業	H28	187,309	0	189,442	304,269	407,214	0	0	0	0	407,214	-
	H27	189,385	0	191,746	338,084	588,142	0	0	0	0	588,142	-
宅地造成事業	H28	180	0	45,039	1,912	0	0	△ 46,771	0	△ 46,771	44,859	-
	H27	33	0	45,068	2,131	0	0	△ 47,166	0	△ 47,166	45,035	-

※用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

※用地関係会計の小計は、①+②-③-④がマイナスであれば、⑤地方債現在高、⑥長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

※用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

※資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)